

ここが知りたい! 飯田学園構想 Q & A

Q 小中一貫した教育を
することで何が良くなるの?

A

「9年間でめざすこどもの姿」を決め、小中学校の先生が一つのチームとなって教育活動に取り組むことで、子どもたちの成長がより確かなものになります。また、特別な教科「みらい創造科」を創設し、それぞれの学園ごとに特色のある教育を進めることができるようになります。



Q 飯田コミュニティスクールって
どんなことをしているの?

A

飯田コミュニティスクールは、地域住民や保護者の方々が学校と協働し、子どもたちの学びを日々支えている仕組みです。また、各学校に、地域の代表の方や保護者の代表の方、地域で子育てに関わっている方などで組織する「学校運営協議会」を置いて、学校運営方針の承認や学校運営状況の評価をしています。



Q 学校の呼び方はどうなるの?

A

正式名称は、今までと同じ飯田市立〇〇学校です。なお、学校行事などにおいて、だんだんと〇〇学園〇〇学校と呼ぶようにします。



Q 校歌や校章は変わるの?

A

校歌や校章は変わりません。



Q 学校施設が分離したままで
一貫した教育を進められるの?

A

施設が分離しているので制限はありますが、先生同士の打ち合わせや子どもたち同士の交流にはICTを有効に活用します。また、直接顔をあわせる機会は重要であるため、直接交流できる機会も充実させたいと考えています。



Q 児童生徒数の減少や施設の
老朽化にはどう対応していくの?

A

今後、さらに「飯田市これからの学校のあり方審議会」での審議を進め、学校の適正な規模についての飯田市としての考え方や学校施設についての考え方を整理し、学校施設の配置等を優先的に検討すべき学園や、その先の検討の進め方を第2次方針として示していきます。第2次方針を決定するにあたっては、広く地域の皆さんや保護者の皆さんのご意見をお聞きする予定です。



Q 先生の負担は増えないの?

A

学園を立ち上げていくにあたっては、先生の負担が増える可能性はあります。立ち上げにあたっての先生の負担を軽減できるよう、飯田市教育委員会として支援を行っていきます。



飯田市立小中学校の
今後のあり方に関する方針
～第1次～の詳細はこちら



飯田市教育委員会
がお届けする
こどもを
ほぐくむ
情報誌

特集

飯田市立小中学校の今後のあり方に関する方針 ～第1次～

飯田学園構想

保護者も地域の人も通わせたい「学園」

子どもたちが通いたい「学園」



令和7年4月から「飯田学園構想」が始まります

変化が激しく、先行きが見通しがたい時代の中、飯田市ではこれまでの教育活動をさらに充実させ、子どもたちが生涯にわたって主体的に、他者と協働しながら生き抜いていける力の基礎をしっかりと育む「飯田学園構想」に取り組みます。

飯田市で積み重ねてきた特色ある教育活動

「飯田学園構想」では、これまで積み重ねてきた特色ある教育活動を、さらに充実させていきます。

- 「飯田のキャリア教育」 生き方を学ぶ教育を推進
- 「小中連携・一貫教育」 小中学校の連携を推進
- 「飯田コミュニティスクール」 地域の皆さんが学校の運営を支える仕組み



こどもたちの豊かな学びの場を目指して ～飯田学園構想が始まります～

飯田市内の小中学校を、中学校区ごとに9つの「学園」とします。

各学園では、小中学校の9年間で、こどもたちがどんな姿に育ってほしいのかを、保護者や地域の皆さんと話し合っ決めて、その実現に向け、こどもたちの成長に合わせた学び(小中一貫教育)を進めていきます。



竜峡中学校
「ふるさとめぐり」



生徒が自分が住んでいる地域を紹介し合い、それぞれの地域の名所を巡り地域の魅力や課題を発見する取組。

自分と地域の未来を切りひらく 「みらい創造科」に取り組みます

「みらい創造科」は、地域の特色を生かした学びを通して、自分の生き方、あり方を考え、自分と地域の未来を切りひらく力を育みます。

どんな学習をするのかを学校と地域で話し合い、協働してこどもたちの豊かな学びを支えます。

3校合同で他校の友達と地元農家の民泊を体験。農家の方の農業と地域に対する思いを知る機会。



千代・千栄・上久堅小学校「ふるさと子ども夢学校」

飯田東中・追手町・浜井場・丸山小学校
「りんご並木」



飯田のシンボルである「りんご並木」。中学生が中心となり、小学生と摘果し、高校生と花を植え、地域の方と作業する取組。

異年齢で学び合う 学校・学年を越えた活動を充実させます

授業や、児童会・生徒会活動、クラブ活動、学校行事などで、異年齢による学校・学年を越えた活動を充実させ、人とかかわりをもち協働していく力を高めます。

飯田西中生と丸山小6年生が合同で、一年間の地域学習の成果を発表し合い、意見交換する機会。



飯田西中・丸山小学校
「かざこし学習発表会」

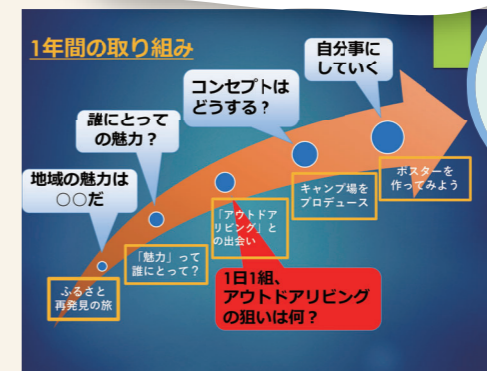
竜東中学校
「地域探究型総合学習～ふるさと再発見の旅～」



こどもたちの問いや願いを大切に 「ムトスの学び」を推進します

実際に「やってみる」「体験する」「人と出会う」といったことをもとに、そこから生まれるこどもたちの「なぜ?」「どうして?」という問いや「～したい」「～になりたい」という願いを大切に、教師の支えを得ながらこどもたちが主体的に学ぶ「ムトスの学び」を進めます。

ふるさと再発見の旅で地域を歩き、体験的な活動から新たな気づきや問いが生まれ、生徒自ら地域のキャンプ場のプロデュースを提案。仲間と共に、主体的に学ぶ「ムトスの学び」につながる。



竜東中学校「地域探究型総合学習」の1年間の取組過程

飯田学園構想による効果と意義

小中一貫教育

小中学校の先生が一つのチームとなり、学びのつながりをつくることで、こどもたちが階段を上るように着実に力を身に付けていきます。

みらい創造科

地域の人たちと関わる体験的な活動を通して、自分やふるさとの良さや可能性に気づき、自分の生き方を考えていく学習を積み重ねることで、こどもたちが豊かな人生を切りひらいていく力を身に付けていきます。

異年齢の学び合い

異なる学年のこどもたち同士の学び合いが増え、こどもたちがお互いの違いを認め合い、人とつながり合って生きていく力を身に付けていきます。

ムトスの学び

こどもたちの「なぜ?」や「～したい」を出発にして、自分から進んで学びに向かい、よりよい考えや行動を生み出し、さらに学ぼうとする意欲を育んでいきます。